

平成19年度第5回都市環境デザイン委員会議事概要

日時 :平成 20年 1月 25日 (金)13:30から

場所 :市役所 10階第 5B会議室

出席委員 :11名

瀧川委員長、河西副委員長、池田委員、神田委員、小藤田委員、齊藤委員、
佐伯委員、渋谷委員、鈴木委員、鳥宮委員、橋本委員

事務局 : 5名

横田都市計画課長、三井基本計画係長、佐藤主任、松林主任補

議事概要

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 題

(1)報告事項

「帯広市都市景観基本計画」の時点修正について

事務局から資料 1により、「帯広市都市景観基本計画」の時点修正の方針と今後のスケジュールが報告されました。

(2)協議事項

「(仮称)景観 100 選」について

事務局から資料 2により、次年度から実施を予定している「(仮称)景観 100選」について、事業概要等が報告されました。

委員からの主な意見等は下記のとおりです。

【委員】選ばれたものが、もし解体などで景観として残らなくなった場合に対象から外されるのか。それともこういう形がありましたよということで選として残していくのか。

【事務局】実際に建物が解体されたりした時のことまでは事務局内でもきちんとした協議は行っていない。実際そういったものがあつた場合に歴史という面も含めて重要ではないかと考えているが、取扱いについてはもう一度検討したい。

【委員長】なくなったもの、過去にあつたものを景観 100 選に入れないと、50 選ぐらいになって 100 選を割るのではないかと。またお手元の資料にも古い建物がありますけど、その中で今は建物がないということもあるのではないかと。特に古い物を残そうとすると帯広市はそれだけお金もかかって大変なことになる。特に野口病院が残っているが、景観的に果たして他の地域から来る人が見た時に、良いのか悪いのかという疑問点があるはず。修復して当時のまま残せるものだったら残しておくのもいいなと思う。ボロボロになって壊される。ドンドン痛んでいく一方。そういうものも含めて今後の検討内容としていただきたい。

【委員】一回の募集で選定公表する本数は大体どのぐらいなのか。100 点あれば 100 点選ぶのか。

【事務局】一度に 100 点応募があった場合、100 点を選ぶのではなく、「(仮称)景観 100 選」に相応しいものを選ぶので、それは年次によって変わってくるのではないか。

【委員】年次によってということは、100 選の募集は毎年やるのか。

【事務局】最低でも3 年ぐらいはこういったことを行っていきたい。その時点で募集等まったくなければ事業そのものの存在が問われる。長く続けるに越したことはないが、基本的に3 年程度の事業年次で考えていきたい。

【委員長】この応募資料等は、コミセンなど色んなところに送られるのか。

【事務局】現在団体等をご整理しているところ。市役所やコミセンなどの、公的なところはもちろん、高校や中学校の写真部など写真の好きな方のところ、1階の市民ホールなどでもよくあるのだが、一般市民の方でも景観の写真を撮られるのが好きな方もいる。情報収集しながら、そういう団体の皆さんにお声かけしたい。また、市のホームページでも掲載する。資料 5 ページのチラシにあるとおり、帯広市内の在住をまったく今回問わない形なので、幅広い皆様からのご応募をいただきたいと考えている。

【委員長】ホームページの活用状況は相当あるものなのか。自分も年間にたまに見る程度なのだが、地元にいる方は、意外と市のホームページを見ないのではないか。

【委員】選ぶのはあくまでもデザイン委員だけということなのか。

【事務局】応募のあったものをホームページで掲載し、市民の皆様はこの部分のこういったところが好きだというものを選んでもらう。そこで出た結果をデザイン委員会の方に参考としてご紹介し各委員の皆様を選定していただく。最終的にはデザイン賞と同じように市長に報告して決定することになる。

【委員】デザイン委員だけで決めるというのめいかがという気がするので、そういう方向を色々考えてほしい。

【事務局】危惧されているのはどういうことで、どうあったらいいと思うのか。

【委員】デザイン賞の応募数を見るとあんまり広まっていない。もっと市民が選ぶことができる様な形をとった方が広く知れ渡るのではないか。選ぶのはやっぱり市民が良いというものであるべき。だから色々この中でも名前を出してほしくないという人もいるだろうし、多分そういう見た目のものは寄り好みででてくるだろうし、例えば100 選なら100 選あるかどうか知らないですけども、難しいのではないかなと思う。そのときだけ特別な委員を募集してみるというのはいかがか。

【事務局】選考委員を公募してみるということか。

【委員】絞ったりするのは、ここということなのか。

【委員長】基本的にはここで絞って市長に持って、市長からの決定という形をとる。各学校の写真クラブなど、結果的にはそういうものをやるような人しか興味がないのだろうが、興味があるようなところをもっと探して、応募していただくような形をとってほしい。

【委員】目的のところはわかるが、最終的にはどういう風な形で100 選になるのか。

【事務局】まず来年度は3 月にパネル展を開催する。その後、ある程度数が集まってきたらホームページや冊子類や景観マップといったものを作成して地域の方々に披露していきたい。

【委員】別に配布されている資料は、他の市での「景観 100 選」的な事業の一覧だと思うが、どういう風に活用しているのか。具体的な例があれば教えてほしい。

事務局】資料は事業の正式名称を決めるときの参考に用意したもの。その中には(仮称)景観100選と同様の事業もありますし、それ以外の事業もある。

質問のあった活用事例については、いくつかのパターンがあり、例えば市政何周年記念とかのときに自分達の地域を見つめなおすための事業としてこういうものを取り組まれたところ、景観行政団体へ移行するときに市民の皆さんに景観への意識を高めてもらうためにやるところ、少し違った観点ではあるが、観光などの事業の一環として自分達の地域の隠れた資源を発掘していこうということもあり、それぞれのところにつきましてやり方が異なる。質問のあったものについては、次回の委員会の資料として提示したい。

委員長】こういうような形でできるということなのか。

事務局】実際に取り組んでいるところがある。

委員】個人の土地や建物などがでてくる可能性が、かなりあるが、それは撮る人が了承を得ているということになるのか。そういう風に出してしまうと「あそこを見に行きたい」といって人が集まる場合がある。そういう処理なども出て来るのではないかなと思うがその辺りをどうするのか。

事務局】他の自治体の状況を伺ったところ、例えば人の顔などが映るものについては、応募される方が整理すると言うのがルールになっている。今回募集するものは、個人が特定される土地とかそういうものはなるべく避けたいと考えている。先ほどのお話にもありましたが、簡単に移り変わっていく景観の部分と言うのは、100選に選定することが非常に難しいところが出てくると感じている。他の自治体の状況も再度確認したい。

委員長】肖像権の侵害のような話はあるのでは。

委員】肖像権の問題ははっきりとしているのでいいと思う。それよりも、人が来られる迷惑、車を止められるとか、多分そっちの方が問題になってくると思う。もしうちが選ばれたら嫌なので選ばれたくない。

委員長】その辺りは、100選に決まった時点で、市役所にその場所に行って、色々な調整をしてもらえば良いのではないか。

事務局】選定については委員会もありますので、そういった部分につきましては場合によっては自然に外すというのも必要かと思う。

委員】今チラシ案の中に「写真の良し悪しは選考に関係ありません」「写真コンテンツではありません」という記載があるが、不特定多数の地元じゃない方に広域に出る可能性は多分出てくると思いますので、選考した後でホームページ上に載せるときには写真の精度というのがある程度必要ではないかという気がする。せっかくこの応募用紙に写した角度や位置などを記載する部分があるので、その写真を選考するときはそのままでいいのか知れないが、その写真が選考された場合にはある程度精度の良いものに作り直すということが場合によっては必要ではないか。

事務局】他の自治体に聞いた話では、応募には写真の良し悪しは基本的に関係ないが、ホームページなどに載せるときには写真の出来栄とかに微妙に差があるため、こういう風に撮った方がいいかなというときには事務局の方で撮りに行ってそれを使っているということだった。

委員長】一般的にはこういうものを冊子などにするときにはプロの方をお願いをして、きちんとした写真を撮るべき。

委員】本当に技術とは関係ないいいながらどこかで何か知覚的に入ってくる要因なので、そういったものが若干影響することがあるのかなという風に思う。

事務局から(仮称)景観100選の候補として、関係部署が持つ景観資源のデータ集から抜粋した一例を紹介しました。

委員からの主な意見等は下記のとおりです。

【委員】「100選」の活用についてですが、市民が例えば、ホームページなどで選んだベスト10などを市民が誰でも自分の名刺とかに使えるとか、市の封筒や名刺などに積極的にプリントするなど使ってほしい。

【事務局】そういった活用もあるのだろうが、市のホームページの技術的な制約もあるので今後検討していきたい。

(3)その他

事務局から次回の委員会までに「(仮称)景観100選」の事業名称を提案してもらうように依頼しました。

4 閉 会